

国庫補助事業の実績に係る 評価について

- 1) 強い農業・担い手づくり総合支援交付金 1
- 2) 産地生産基盤パワーアップ事業 5
- 3) 農畜産物輸出拡大施設整備事業 14

<対策のポイント>

- 産地の収益力強化と担い手の経営発展のため、産地・担い手の発展の状況に応じて必要な農業用機械・施設の導入を切れ目なく支援します。
- 地域農業者の減少や労働力不足等生産構造の急速な変化に対応するための新たな生産事業モデルの育成を支援します。

<政策目標>

- 加工・業務用野菜の出荷量（直接取引分）の拡大（145万トン〔令和12年度まで〕）
- 1中央卸売市場当たりの取扱金額の増加（695億円〔平成28年度〕→719億円〔令和6年度まで〕）
- 意欲ある担い手の育成・確保

<事業の内容>

<事業イメージ>

1. 地域の創意工夫による産地競争力の強化と担い手の経営発展の推進

【都道府県向け交付金】

① 産地基幹施設等支援タイプ

- ア 産地農業において中心的な役割を果たしている農業法人や農業者団体等による集出荷貯蔵施設等の**産地の基幹施設の導入を支援**
- イ 品質・衛生管理の強化等を図る**卸売市場施設**、産地・消費地での共同配送等に必要なた**ストックポイント等の整備を支援**

② 先進的農業経営確立支援タイプ

広域に展開する農業法人等の経営の高度化に必要な**農業用機械・施設の導入を支援**

③ 地域担い手育成支援タイプ

- ア 農業者の**経営基盤の確立**や更なる発展に向けた**農業用機械・施設の導入を支援**
- イ 小規模・零細地域における、意欲ある経営体の**共同利用機械・施設の導入を支援**

2. 生産構造の急速な変化に対応するための新たな生産事業モデルの確立【国直接採択】

拠点となる事業者が連携する生産者の作業支援など様々な機能を発揮しつつ、**安定的な生産・供給を実現しようとする新たな生産事業モデルの育成を支援**

【都道府県向け交付金】

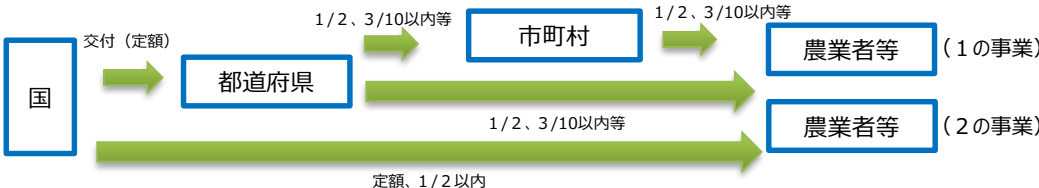
産地競争力の強化＋経営発展の推進	① 産地基幹施設等支援タイプ <優先枠を設定し、集出荷・加工の効率化に向けた再編合理化、※中山間地域(棚田地域を含む)の競争力強化、※水田農業高収益化等の取組を推進> (※一部拡充) ・助成対象：農業用の産地基幹施設（耐用年数5年以上） ・補助率：1/2以内等 ・上限額：20億円
	② 先進的農業経営確立支援タイプ ※ 助成対象者は人・農地プランの中心経営体 ・助成対象：農業用機械・施設（耐用年数5年～20年） ・補助率：融資残額（事業費の3/10以内）等 ・上限額：個人1,000万円、法人1,500万円等
	③ 地域担い手育成支援タイプ ※ 助成対象者は人・農地プランの中心経営体 <優先枠を設定し、労働力不足等の課題に対応するロボット技術・ICT機械等の導入を推進> ・助成対象：農業用機械・施設（耐用年数5年～20年） ・補助率：融資残額（事業費の3/10以内）等 ・上限額：300万円等

人・農地プランの実質化の推進と連携

【国直接採択】



<事業の流れ>



【お問い合わせ先】
 (1 ①ア、2の事業) 生産局総務課生産推進室 (03-3502-5945)
 (1 ①イの事業) 食料産業局食品流通課 (03-6744-2059)
 (1 ②、③の事業) 経営局経営政策課担い手総合対策室 (03-6744-2148)

令和2年度強い農業・担い手づくり総合支援交付金実績の概要

市町名	地区名	事業主体	事業実施期間
さぬき市・東かがわ市	大川地区	香川県農業協同組合	令和2年度～令和3年度

事業計画の概要

(課題)

さぬき市・東かがわ市丹生地区に計4か所ある穀類乾燥調製貯蔵施設（CE・RC施設）の処理能力が低下し、利用率が低迷する中、これらの施設の集約と処理能力の強化が課題となっている。

また、当地区は早期コシヒカリの産地であるが、近年、高温障害により「コシヒカリ」の3等米への落等が多発している。2015年産～2019年産における1等米比率（5中3）は1.5%と全国平均と比較して非常に低い状況にあり、2等～3等の価格格差は900円となっている。3等への落等は生産者の収入減少に直結するため、品種転換を含め早急な対策が求められている。収穫量は450kg/10aを下回るほ場が増加しており、生産者の生産意欲を減退させている。

(計画内容)

当該地区内の4施設を集約・再編整備する新施設により、処理能力の強化を図るほか、高温耐性品種である早生品種「あきさかり」・中生品種「おいでまい」を導入し、作期分散による新施設の利用率向上や効率的な施設運営を目指す。

また、高温耐性品種の導入により1等米比率の改善を図り、異種穀粒や異物の除去による「食の安全安心」を担保することで、米卸業者との高品質米の複数年契約に結び付け、農家所得の向上に繋げる。

新施設では、地域の稲作農家、農業機械銀行、集落営農法人等連絡協議会などによる新しいCE運営委員会を設立し、荷受日程や荷受制限、高温耐性品種への切替など、地域の意向を反映できる体制づくりを行い、新施設の利用促進を図る。

施設整備計画

整備内容	事業費 (円)	交付金 (円)	事業の内容
穀類乾燥調製貯蔵施設	1,226,500,000	557,500,000	建物1棟、貯蔵乾燥ビン50t×60基 糶摺機1基、出荷設備一式

期待される効果の概要

項目	R1年度 (現状値)	R2年度 (実績値)	R3年度 (実績値)	R4年度 (実績値)	R4年度 (目標値)	概要
高温耐性品種の作付割合	7.9%	11.2%	13.8%	%	30.6%	コシヒカリからの転換22.7%増
CE利用率	37.7%	0%	74.2%	%	100.0%	既存CE・RC再編後の利用率80%以上

○令和3年7月に施設整備が完了し、同年8月から本格稼働。

○高温耐性品種への転換は、米価下落の影響を受けて増加率は緩やか。

○施設利用率は概ね想定通りの推移。

令和2年度強い農業・担い手づくり総合支援交付金導入機器

(写真)



① 荷受設備

(収穫した穀類を荷受けする設備。
投入口から穀類を投入し、重量の計測等を行い、乾燥設備へ移送する。)



② 貯蔵乾燥設備

(穀類の乾燥を行う設備。
新施設では、底面から外気と同じ温度・一定湿度の空気が噴出する強制通風貯蔵乾燥方式が採用されており、ゆっくりと乾燥することで風味を損ないにくい。また、CO₂等の排出がなく、騒音・粉塵対策もされている。)



③ 精選設備

(穀類から夾雑物や汚れ等を除去する設備。)



④ 粃摺調製設備 (粃摺り)

(粃を2つのローラーで擦り合わせ、ローラーごとの回転数の違いで粃殻を取り除く設備。)



⑤ 粃摺調製設備 (ふるい)

(粃殻を取り除いた穀粒をふるいにかけて、粒の大きさでより分ける設備。
その後、色彩選別機により着色した穀粒等をより分ける工程がある。)



⑥ 計量出荷設備

(④、⑤を経た穀粒を米袋や運搬用の大型袋(フレコ)等に詰める設備。)



⑦ 自主検査設備
 (荷受物から取得したサンプルを検査する設備。
 農業者ごとに小型乾燥機で乾燥し、穀粒の品位を測定する。)



⑧ 外観

⑨ 事業看板

○ 産地生産基盤パワーアップ事業

【令和2年度第3次補正予算額 34,160百万円】

<対策のポイント>

収益力強化に計画的に取り組む産地に対し、**農業者等が行う高性能な機械・施設の導入や栽培体系の転換等**に対して総合的に支援します。また、輸出関連等の事業者と農業者が協働で行う取組の促進等により**海外や加工・業務用等の新市場を安定的に獲得していくための拠点整備、全国産地の生産基盤の強化・継承、堆肥の活用による全国的な土づくり等**を支援します。

<事業目標>

- 青果物、花き、茶の輸出額の増加（農林水産物・食品の輸出額2兆円〔2025年まで〕、5兆円〔2030年まで〕）
- 品質向上や高付加価値化等による販売額の増加（10%以上〔事業実施年度の翌々年度まで〕）
- 産地における生産資源（ハウス・園地等）の維持・継承 等

<事業の内容>

1. 新市場獲得対策

- ① **新市場対応に向けた拠点事業者の育成及び連携産地の体制強化**
新市場のロット・品質に対応できる拠点事業者の育成に向けた貯蔵・加工・物流拠点施設等の整備、拠点事業者と連携する産地が行う生産・出荷体制の整備等を支援します。
- ② **新市場対応を支える物流体制の革新**
生産コスト低減に向けた肥料物流の合理化を図るため、統一規格の追跡型パレットの導入や管理システムの開発の実証等を支援します。

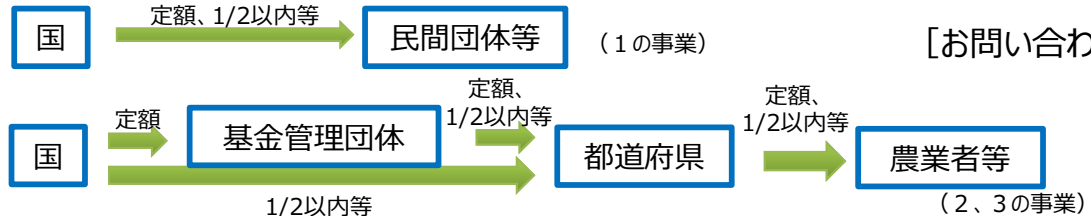
2. 収益性向上対策

収益力強化に計画的に取り組む産地に対し、計画の実現に必要な農業機械の導入、集出荷施設の整備等を総合的に支援します。

3. 生産基盤強化対策

- ① **生産基盤の強化・継承**
農業用ハウスや果樹園・茶園等の生産基盤を次世代に円滑に引き継ぐための再整備・改修、継承ニーズのマッチング等を支援します。
- ② **全国的な土づくりの展開**
全国的な土づくりの展開を図るため、牛ふん堆肥等を実証的に活用する取組を支援します。

<事業の流れ>



【お問い合わせ先】

(1 ①、2の事業)	生産局総務課生産推進室	(03-3502-5945)
(1 ②の事業)	技術普及課	(03-6744-2435)
(3 ①の事業)	園芸作物課	(03-6744-2113)
(3 ②の事業)	農業環境対策課	(03-3593-6495)

<事業イメージ>

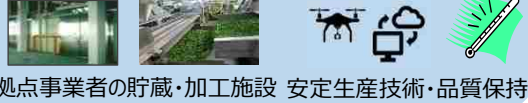
農業の国際競争力の強化

輸出等の新市場の獲得

ニーズに合ったロット・品質で安定的に供給

新たな生産・供給体制

農業者と協業する輸出事業者等による貯蔵・加工等の拠点整備、産地の生産・出荷体制の整備

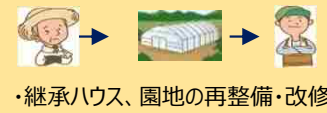


産地の収益性の向上

収益力強化への計画的な取組



生産基盤の強化



令和2年度産地生産基盤パワーアップ事業の概要

市町名	地区名	事業主体	事業実施期間
高松市	高松市中南部	農事組合法人A	令和2年度

事業計画の概要

(課題)

高松市の花き生産は、キクやカーネーションなどの施設花きと、伝統園芸である盆栽を中心に発展し、中でも、切花類の施設化率は栽培面積の58%（平成26年度）と高く、面積の零細性を施設化で補う集約性の高い部門となっている。しかし、近年の生産者の高齢化や輸入の増加により、産出額は、平成3年にピークを迎えた後、やや減少・横ばいで推移している。また、燃油価格の高騰や、自然災害の増加により、年々経営は厳しい状態が続いている。

(計画内容)

経営の安定をめざし、収益を確保していくため、県オリジナル品種や実需者ニーズの高い品種の導入し、生産量を増加させるため、災害に強く、かつコストを抑えた低コスト耐候性ハウス（6120㎡）を新規に導入することにより、カーネーション（切花）の増収を図る（5461千本→6048千本）。特に市場ニーズの高いオリジナル品種を中心に作付を行い、販売額の向上を図るとともに、採光性を向上させ、かつ栽植密度を下げることにより、秀品率の向上を図る。

今回規模拡大を行うほ場が、これまでのほ場と距離があり、既存の集出荷施設では新規に増加した出荷量をまかなえないのみならず、品質の低下を招くため、あらたにハウスに隣接し、需要期の市場要望にみあう供給量を確保するための冷蔵庫を完備した集出荷貯蔵施設を整備する。

施設整備計画

整備内容	受益面積 (ha)	受益戸数 (戸)	事業費 (円)	助成金 (円)	事業の内容
低コスト耐候性ハウス (4棟 6,120㎡) 集出荷貯蔵施設 (1棟 191.5㎡)	2.2	7	291,540,700	131,732,000	生産技術高度化施設 ・低コスト耐候性ハウス (4棟 6,120㎡) ・附帯設備一式 集出荷貯蔵施設 ・建屋(1棟 191.5㎡) ・予冷库 ・梱包機

期待される効果の概要

項目	R1年度 (現状値)	R2年度 (実績値)	R3年度 (実績値)	R4年度 (実績値)	R4年度 (目標値)	概要
販売額の10% 以上の増加	178,204 千円	178,436 千円	209,700 千円		209,216 千円	総販売額を11%増加

令和2年度産地生産基盤パワーアップ事業導入機器

(写真)



① 低コスト耐候性ハウス



② ハウス内部



③ 加温機



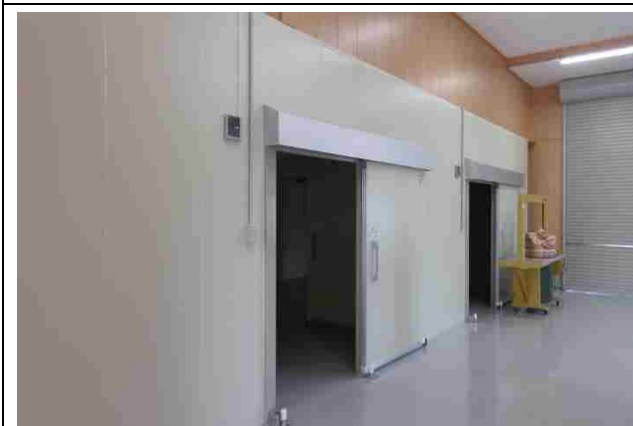
④ ボイラー



⑤ 換気制御版



⑥ 集出荷貯蔵施設



⑦ 予冷库



⑧ 梱包機

令和2年度産地生産基盤パワーアップ事業実績の概要

市町名	地区名	事業主体	事業実施期間
さぬき市・東かがわ市	大川地区	香川県農業協同組合	令和2年度～令和3年度

事業計画の概要

(課題)

大川地区のミニトマトは、市場における評価が高く、有利販売されるとともに、認定農業者や認定新規就農者等の担い手を中心に規模拡大が図られている。また、新規栽培者も増加傾向にあるなど、将来的にも産地の発展が期待されている。

しかしながら、各生産者が行っている選別・パック詰めに必要な労働時間が多く、栽培管理に十分な時間をかけられないことや、限られた人員の中で面積拡大が難しいといったことが課題となっていた。

(計画内容)

本事業でJAに選別・調整及び包装施設を導入し、産地内で支援を希望する13名(2.2ha)の生産者のミニトマトの出荷調整作業(選別・パック詰め作業)を支援することによって生産者の労働時間の削減を行い、削減できた時間を活用し、規模拡大や十分な栽培管理を行うことにより、品質の維持及び向上、収量の増加を図った。

施設整備計画

整備内容	受益面積 (ha)	受益戸数 (戸)	事業費 (円)	助成金 (円)	事業の内容
ミニトマト選別、調整及び包装施設	作付実面積 4.8ha うち受益実面積 2.2ha	作付戸数 25 うち 受益戸数 13	21,450,000	9,750,000	選別機 (1台(1,200kg/時間)) パック詰め機 (4第(450P/時間)) 半自動製函機 (1台(900ケース/時間)) 搬送コンベア(一式)

期待される効果の概要

項目	R1年度 (現状値)	R2年度 (実績値)	R3年度 (実績値)	R4年度 (実績値)	R4年度 (目標値)	概要
販売額の6%以上の増加	318,488 千円	290,580 千円	311,245 千円		364,004 千円	総販売額の14%以上の増加

令和2年度産地生産基盤パワーアップ事業導入機器

(写真)



① 全体の様子



② 選別機



③ 選別機



④ パック詰め機



⑤ 半自動製函機



⑥ 搬送コンベア

令和3年度産地生産基盤パワーアップ事業実績の概要

市町名	地区名	事業主体	事業実施期間
綾川町・ 坂出市	綾坂地区	生産組合 A	令和元年度～令和3年度

事業計画の概要

(課題)

綾川地域及び坂出地域におけるアスパラガス栽培は、高齢化に伴い生産者が減少している一方で、意欲の高い若手生産者や他品目から転換する生産者などが増加しており、地域全体の栽培面積は拡大している。

また、香川県オリジナル品種である「さぬきのめざめ」への改植や新植の推進、かがわ型アスパラガス栽培システムによる高畝省力化栽培法の導入により、省力的かつ安定的なアスパラガスの生産体系の構築が進んでいる。

そこで、出荷時期を拡大させて安定した生産を行うことが可能なアスパラガス栽培ハウスを整備し、増反や新規栽培者が参入しやすい環境へと改善していくことで反収及び品質の向上し、販売額の増加を図ることが課題になっていた。

(計画内容)

本事業で栽培ハウスを導入し、「さぬきのめざめ」の新植及びかがわ型アスパラガス栽培システムを推進することで、作付面積の拡大や反収の増加、秀品率の向上を図った。また、利用者ごとの出荷デーを基にした栽培指導により、栽培管理を徹底することで産地全体の生産拡大を図った。

施設整備計画

整備内容	事業費 (円)	交付金 (円)	事業の内容
アスパラガス栽培管理パイプハウスの資材導入	59,581,628	28,646,000	資材費 パイプハウス (36棟 11,445 m ²)

期待される効果の概要

項目	H30年度 (現状値)	R1年度 (実績値)	R2年度 (実績値)	R3年度 (実績値)	R4年度 (実績値)	R4年度 (目標値)	概要
販売額の 10%以上の 増加	1,587 千円/10a	1,685 千円/10a	1,653 千円/10a	1,376 千円/10a		1,794 千円/10a	10a 当たり販売額 10%以上の増加

令和3年度産地生産基盤パワーアップ事業導入機器

(写真)



① アスパラガス栽培用ハウス全景



② サイド換気部



③ ダブルアーチ、畝資材



④ 灌水資材立ち上げ部



⑤ 灌水タンク



⑥ 灌水フィルター

令和3年度生産基盤パワーアップ事業計画の概要

市町名	地区名	事業主体	事業実施期間
丸亀市・善通寺市・ まんのう町・ 多度津町・琴平町	仲多度地区	生産組合 B	令和3年度～令和4年度

事業計画の概要

(課題)

仲多度地域におけるアスパラガス栽培は、高齢化に伴い生産者が減少している一方で、意欲の高い若手生産者や他品目から転換する生産者などが増加しており、地域全体の栽培面積は拡大している。また、香川県オリジナル品種である「さぬきのめざめ」への改植や新植の推進、かがわ型アスパラガス栽培システムによる高畝省力化栽培法の導入により、省力的かつ安定的なアスパラガスの生産体系の構築が進んでいる。

今後更なるJAとの協力、また、各生産者に応じた適切な指導・管理の徹底により、全体的な収量の底上げ、品質の向上を図ることが課題となっていた。

(計画内容)

本事業で栽培ハウスを導入し、「さぬきのめざめ」の新植及びかがわ型アスパラガス栽培システムを推進することで、作付面積の拡大や反収の増加、秀品率の向上を図る。

施設整備計画

整備内容	事業費 (円)	交付金 (円)	事業の内容
アスパラガス栽培管理パイ プハウスの資材導入	26,800,136	11,870,000	資材費 パイプハウス (21棟 3,408.55 m ²)

期待される効果の概要

項目	R2年度 (現状値)	R3年度 (実績値)	R4年度 (実績値)	R5年度 (実績値)	R6年度 (実績値)	R6年度 (目標値)	概要
販売額の 10%以上の 増加	836 千円/10a	795 千円/10a				920 千円/10a	10a 当たり販売額 10%以上の増加

令和3年度生産基盤パワーアップ事業導入機器

(写真)



① アスパラガス栽培用ハウス全景



② アスパラガス栽培用ハウス全景



③ 畝部資材



④ 畝部資材



⑤ ダブルアーチ資材



⑥ 谷部資材

<対策のポイント>

国産農畜産物の輸出の拡大に必要な**集出荷貯蔵施設、加工処理施設等の産地基幹施設**や**コールドチェーン対応卸売市場施設**等の整備を支援します。

<政策目標>

農林水産物・食品の輸出額の拡大（2020年以降のポスト1兆円目標）

<事業の内容>

<事業イメージ>

1. 輸出対応型施設の整備

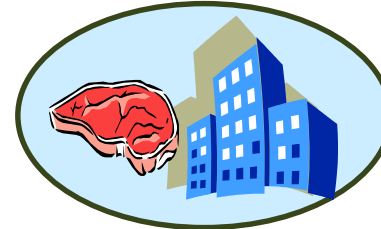
「強い農林水産業」の構築に向け、国産農畜産物の輸出促進の取組に必要な輸出対応型の集出荷貯蔵施設や加工処理施設等の整備を支援します。

14

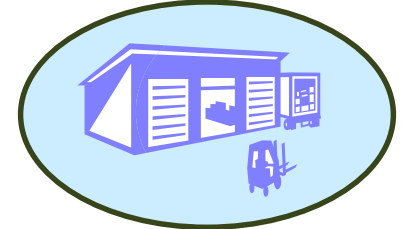
2. 輸出促進に繋がる卸売市場等の整備

生鮮食料品等の輸出促進を図るため、輸出先国までの一貫したコールドチェーンシステムの確保に資する施設や輸出先国が求める衛生基準等を満たす施設等の整備を支援します。

HACCP等輸出対応食肉施設



CA貯蔵施設



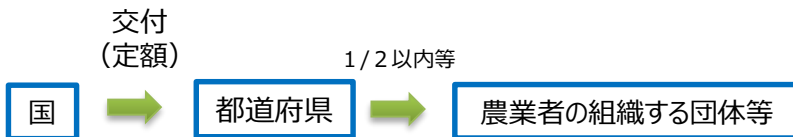
〔米国、EU等は牛肉施設について HACCP対応を要求〕 〔輸出先国の需要時期に合わせた供給を可能とする青果物の長期保存体制を構築〕

コールドチェーン対応卸売市場施設



〔高度に温度管理された施設を整備することで、輸出先国までの一貫したコールドチェーンシステムの確保〕

<事業の流れ>



【お問い合わせ先】 (1の事業) 生産局総務課生産推進室 (03-3502-5945)

(2の事業) 食料産業局食品流通課 (03-6744-2059)

平成 30 年度農畜産物輸出拡大施設整備事業実績の概要

市町名	地区名	事業主体	事業実施期間
さぬき市	津田地区	株式会社 A	平成 30 年度

事業計画の概要

(課題)

海外では、健康志向の高まりにより日本食がブームとなり、日本産米の需要が増加している。日本産米は高価格帯で取引されていることから、品質の高さが求められている。

株式会社 A は、HACCP 認証を取得し、安全な米の輸出に取り組んでいるが、出荷形態についてはほとんどが精米(白米)の状態であり、精米後 1 ヶ月以上を要して実需者に届く状況のなか、品質の低下が問題となっている。

(計画内容)

真空包装機の導入、選別機能の強化により、安全安心に加えて高品質な商品の提供を行う。また、簡易に利用することができる無洗米商品や、健康食として注目されている玄米商品等を強化し、付加価値のある商品開発に取り組むことで、販路拡大を図る。

施設整備計画

整備内容	事業費 (円)	交付金 (円)	事業の内容
農産物処理加工施設（精米施設）の整備	68,017,967	31,489,000	選別ライン一式 全自動真空整形装置 2 台 洗浄排水設備一式

期待される効果の概要（年度の考え方：前年 11/1～当年 10/31）

項 目	H29 年度 (現状値)	H30 年度 (現状値)	R1 年度 (現状値)	R2 年度 (実績値)	R3 年度 (実績値)	R4 年度 (実績値)	R4 年度 (目標値)	概 要
輸出向け出荷量の増加	77.97t	5.63t	11.86t	70.79t	38.40t		400t	輸出向け出荷量 413 ポイント増
輸出相手国（地域）の増加	<u>3カ国</u>	<u>1カ国</u>	<u>2カ国</u>	<u>3カ国</u>	<u>4カ国</u>	-	9カ国 ※	輸出相手国 新たに 6カ国開拓

※ 9カ国（アメリカ、カナダ、インドネシア、UAE、香港、台湾、マカオ、シンガポール、オーストラリア）

※ 新規（フィリピン）

○平成 31 年 3 月に施設整備が完了し、令和元年度から本格的に稼働。

○価格競争力の面から、輸出量及び輸出先国数の増加が伸び悩んでいるが、令和元年度から県内農業者等と連携し、輸出先国の求める品種・品質・価格の米穀の確保に必要な試験栽培を開始している。

○新型コロナウイルス感染症の流行により、現地での売り込みが難しい状況が続いている。

平成 30 年度農畜産物輸出拡大施設整備事業導入機器

(写真)



① 色彩選別機
(白米・玄米をフルカラーカメラでチェックし、着色粒や雑草種子等の異物を除去する。)



② 白米精選機
(網目の大きさが違う“ふるい網”3層により、精米した白米を「整粒」、「砕粒」、「糠玉」、「糠」に選別する。)



③ 全自動真空整形装置
(包装済み米袋を振動整形・密閉脱気し、真空包装のパックを作成する。密閉脱気により、空気の混入による品質低下を抑制する。)